

带状疱疹ワクチンの 取扱いを開始しました

带状疱疹って
どんな人がかかるのかな？

带状疱疹って
予防できるのかしら？

50歳を過ぎたら **带状疱疹**の
たい じょう ほう しん
予防接種ができます。

日本人成人の90%以上は、
带状疱疹の原因となるウイルスが
体内に潜んでいて¹⁾、
80歳までに約3人に1人が
带状疱疹になるといわれています²⁾。

1) 国立感染症研究所：病原微生物検出情報 (IASR)。「水痘抗体保有状況」

[<https://www.niid.go.jp/niid/ja/y-graphs/8132-varicella-yosoku-serum2017.html>, 2019年3月13日確認]

2) Shiraki K. et al.: Open Forum Infect Dis. 4(1), ofx007, 2017

【編集協力】 愛知医科大学 皮膚科学講座 教授 渡辺大輔 先生

带状疱疹の予防接種をご希望の方は当院にご相談ください。

带状疱疹ワクチンの取扱いを開始しました

带状疱疹とは

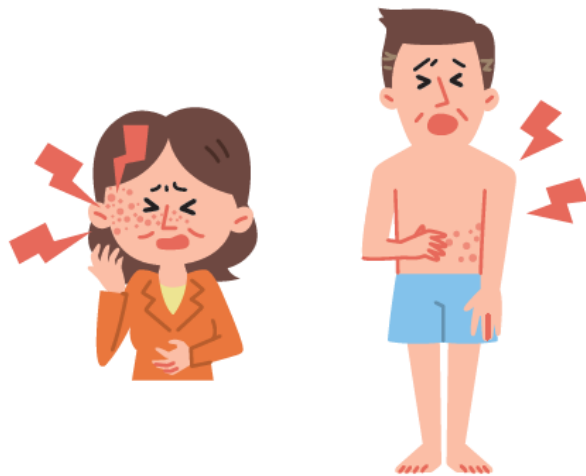
①加齢による免疫力低下

②疲労 ③ストレス ④基礎疾患

により水痘ウイルスが再活性化し、
身体の一部に激的な痛みを伴う
皮疹が生じます。 ※1



疼痛が慢性化することもあります



带状疱疹ワクチン

対象 50歳以上

目的 带状疱疹の発症予防

(水ぼうそう予防ではありません)

接種薬剤 「シングリックス筋注用」

有効性 50歳以上で97% 70歳以上で90%

接種方法 筋肉注射

接種回数 2回 (2カ月間隔 最大6カ月迄)

費用 1回あたり自費¥22,000 (要予約)

接種を希望される方は医師にご相談ください。

あわせて次ページ説明事項もご覧ください。

带状疱疹ワクチン 説明事項

副反応

局所(注射部位)・・・疼痛77%、発赤40%、腫脹22%
全身・・・筋肉痛48%、疲労41%、頭痛35%
※稀に重大な副反応(ショック,アナフィラキシー)があります



接種できない方

- ①発熱(37.5℃以上)している方
- ②急性疾患に罹患中の方
- ③このワクチンの成分でアナフィラキシーを起こした方
- ④その他、医師により不相当と判断された方

接種可能か医師に相談が必要な方

- ①基礎疾患のある方
- ②過去にけいれんを起こした方
- ③予防接種でアレルギー歴のある、又はその恐れがある方
- ④本人・血縁に免疫不全と診断されたことのある方
- ⑤血小板が少ない・出血しやすい方
- ⑥妊娠中・授乳中の方

接種後の注意

- ①接種後よく体調を観察してください
- ②当日は激しい運動を避けてください。入浴は可能です
- ③異変を感じたら医師の診察を受けてください

他ワクチンとの間隔

- ①生ワクチン・不活化ワクチン・・・間隔設定不要
- ②新型コロナワクチン・・・前後2週間あける